

第42回ブラッシュアップ研修会 報告

	日時	場所	テーマ
第42回	2024年9月14日 (土) 研修会13:30~16:00	かながわ労働プラザ 第4会議室	1. 卒業生講演：特定国立研究開発法人理化学研究所 内田 孝尚 氏 (S51 機械卒) 演題：データドリブン・マニュファクチャリングの時代 2. 先生講演：横浜国立大学大学院 大学院工学研究院 助教 黒瀬 築 先生 演題：沸騰・凝縮流の自励振動現象に関する研究

研修会講演概要

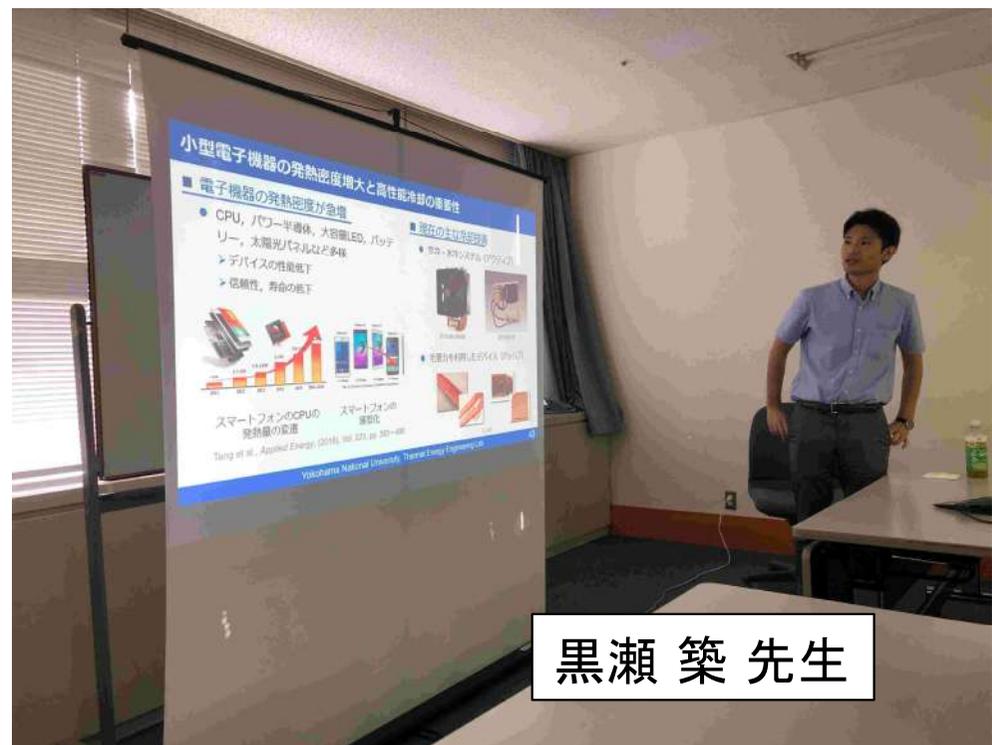
研修会参加者：11名 懇親会参加者：8名

卒業生	先生
データドリブン・マニュファクチャリングの時代	沸騰・凝縮流の自励振動現象に関する研究
ものづくりの3D設計を中心としたバーチャルエンジニアリングが、世界の主流となり世界の製造業での3Dデータ活用はほぼ100%となっている中、日本ではわずか16%程度。これが最大の課題として3D設計の必要性をご自身の経験を基に具体的に説明された。今後、日本の製造業が世界のマーケットで勝ち残るためには、新しいイノベーションとデジタル技術を使った新たな動きの推進が必要であるとまとめられた。	基礎的な内容としてヒートポンプシステムをテーマに熱交換器における冷媒等との熱伝達、相変化による効率等の紹介の後、メインテーマである自励振動現象によるヒートパイプ、ベイパーチャンバーを用いた熱交換システムを紹介された。そして今後、動力を使わないパッシブシステムの開発に関して具体的な製品開発を企業とのコラボで進めていきたいと、若手研究者としての具体的な目標を掲げられた。
特定国立研究開発法人理化学研究所 研究嘱託 内田 孝尚 氏 (S51 機械卒)	大学院工学研究院 システムの創生部門 助教 黒瀬 築 先生

第43回「ブラッシュアップ研修会」を2025年2月～3月に開催予定です。



内田 孝尚 氏



黒瀬 築 先生



研修会の様子



懇親会の会場